

■会社概要

名 称	株式会社セブン&アイ・クリエイトリック
本 社	〒102-8452 東京都千代田区二番町8番地8 電話：03-6238-2690（代表）
代表者	代表取締役社長 泉井 清志
設 立	2005年3月9日
資本金	1,070,000,000円
株 主	株式会社セブン&アイ・ホールディングス 株式会社イトーヨーカ堂
事業内容	商業施設等の開発、テナントリーシング、運営・管理 不動産の有効活用、資産価値向上に向けた 各種ソリューションの提供 ラウンジサービスの提供 宅地建物取引業 東京都知事（4）84494号 第二種金融商品取引業 関東財務局長（金商）第1522号
加入協会	一般社団法人 日本ショッピングセンター協会 一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 一般社団法人 不動産証券化協会（準会員） 公益社団法人 東京都宅地建物取引業協会 東京都宅建協同組合

■役員

代表取締役社長	泉井 清志	執行役員	渡辺 雅人
取締役 専務執行役員	井上 了徳	執行役員	市川 千里
取締役 常務執行役員	新井 浩且	執行役員	田村 正成
取締役 常務執行役員	大橋 尚司	執行役員	尾上 政哉
取締役	石橋 誠一郎	アドバイザー	近藤 悦啓
取締役	逸見 弘剛		
監査役	北村 精司		

2023年3月現在



セブン&アイ・クリエイトリック



会社案内

CORPORATE PROFILE



セブン&アイ・クリエイトリック



ABOUT US

セブン&アイグループ唯一の 総合ディベロッパー会社

セブン&アイグループ共通の社是



私たちは、お客様に信頼される、誠実な企業でありたい。
私たちは、取引先、株主、地域社会に信頼される、誠実な企業でありたい。
私たちは、社員に信頼される、誠実な企業でありたい。

セブン&アイグループ共通の価値観として、1972年に制定された社是である「信頼と誠実」の精神は、
私たちの「原点」ともいえる大切な拠り所となる精神です。
一人ひとりの社員がこの精神を胸に日々の業務を実施しています。

セブン&アイグループデータ (2022年2月期)

セブン&アイグループは、世界中にネットワークを持つ有数の小売グループです。あらゆるライフシーンに対応した多様な業態が
結集しており、さまざまなお客様との「つながり」、商品・サービスのイノベーションを創出しています。

グループ売上



14兆2,432億円

※セブン・イレブン・ジャパン、セブン・イレブン・沖縄および
7-Eleven, Inc.における加盟店売上を含めた数値

1日当たりの総来客数(国内)



約2,220万人

店舗数(国内)



約22,700店舗

私たちのビジョン



お客様、お取引先、地域社会、従業員など、私たちに関わる全てのステークホルダーの力をひとつに合わせ、
セブン&アイグループの資源を活用しながら地域に寄り添った新たな場を提供することで、価値を創造したい。
そして、その果実を皆様と共に享受し、共に成長していきたい。

当社の商号は、このような想いを込めて作られました。
Create : 価値を「創造」
Link : 全てのステークホルダーの力を「ひとつに」
(Rink : 地域に寄り添った新たな「場」を提供)

セブン&アイグループの一員としての当社の役割



セブン&アイグループ各社の活性化を支援
新規出店・再開発・SC運営・リニューアル



セブン&アイ・クリエイトリンク



DESCRIPTION OF BUSINESS

事業領域

弊社は、セブン&アイグループの総合ディベロッパー会社として「商業施設開発」「テナントリーシング」「運営・管理」の3つの事業を中核としながら、さまざまな「新しい取り組み」にも積極的にチャレンジしています。

開発

Development



リーシング

Leasing



運営・管理

Property management



新しい取り組み

New initiatives



当社の特徴

各事業領域ごとの当社の特徴をご紹介します。

経験豊かで専門知識（宅地建物取引士・建築士など）を持ったスタッフが各業務に従事しています。



商業施設開発

小型物件から大型物件まで立地特性に応じたさまざまな開発を実施しています。独自のコンセプトや施設環境づくりに力を入れており、一つひとつを大切につくり上げています。また、大型商業施設の開発のノウハウを活かし、物流施設などの開発・建築支援も行っています。



テナントリーシング

質の高いマーケット調査（専門部署を配置）に基づきテナントリーシングを実施しています。5,000社を超えるテナント様やセブン&アイグループ各社とのネットワークを活用し、魅力あるSCづくりを目指しています。



運営・管理

「アリオ」をはじめとして全国に20店舗を超える大型SCの運営実績とノウハウが蓄積されています。小売り出身のディベロッパーだからこそできるテナント様の現場目線に立った営業支援や、地元生産者、商店街の方々と共に継続して地域イベントを行うことで地域の活性化に貢献できることが特徴です。



新しい取り組み

開発、リーシング、運営・管理の各事業において、日々新しい取り組みを行っています。一例として、情報発信を強化するため、SCに最適化されたWEBサイトの管理システムを独自に開発しました。また、新規事業として、地域のお客様が自由に自分だけの時間を過ごせる新しい「場」の開発にも取り組んでいます。

STORE DETAILS

店舗のご紹介

セブン&アイ・クリエイトリンクは、独自の物件開発力と豊富なテナント情報・リーシング力に加え、セブン&アイグループの資源を最大限に活用しながら不動産開発、テナントリーシング、運営・管理を行います。

●・・・[自社運営店舗] ●・・・[運営受託店舗]

大阪府



- アリオ鳳
- アリオ八尾

●セブンパーク天美

兵庫県



●アリオ加古川

岡山県



●アリオ倉敷

北海道



●アリオ札幌

宮城県

●アリオ仙台泉

長野県



●アリオ上田

愛知県



●プライムツリー赤池

埼玉県

- セブントウンせんげん台
- アリオ鷺宮
- アリオ深谷
- アリオ川口



●アリオ上尾



●モールプラザ

東京都

- アリオ北砂
- アリオ西新井
- アリオ葛西



●アリオ亀有



●セブントウン小豆沢

千葉県

- セブントウン常磐平
- アリオ市原
- アリオ蘇我
- フルルガーデン八千代



●セブパーク アリオ柏



●ショッピングプラザ鎌ヶ谷

神奈川県



●アリオ橋本



●グランツリー武蔵小杉



●LICOPA 鶴見



SDGs・地域連携



行政と連携して 地域活性化を推進

各地の自治体と包括的な連携と協力関係を築き、将来にわたる活力ある地域社会の形成・発展及び市民サービスの向上に資するため連携協定を締結しています。地場名産品の販売支援や地域の情報発信などを通じ、地域の活性化を行っています。



地域の伝統行事を 未来へつなげる

埼玉県久喜市の伝統的な祭礼行事「天王様・久喜提燈祭り」がコロナ禍で中止、または規模を縮小しての開催を余儀なくされる中、アリオ鷲宮では、お祭りの伝統を途切れさせないため、ショッピングセンター内で開催しました。



選挙の投票所 としての場の提供

選挙の投票率の向上に貢献するため、各店に期日前投票所を設置。多くの近隣住民の方にご利用いただきました。



産学連携 ～工学院大学・阪南大学

これまでになかった学生と企業との「直接的」な「連携」を実現する取り組みを実施。これからの時代を担う若い世代の育成にも貢献します。

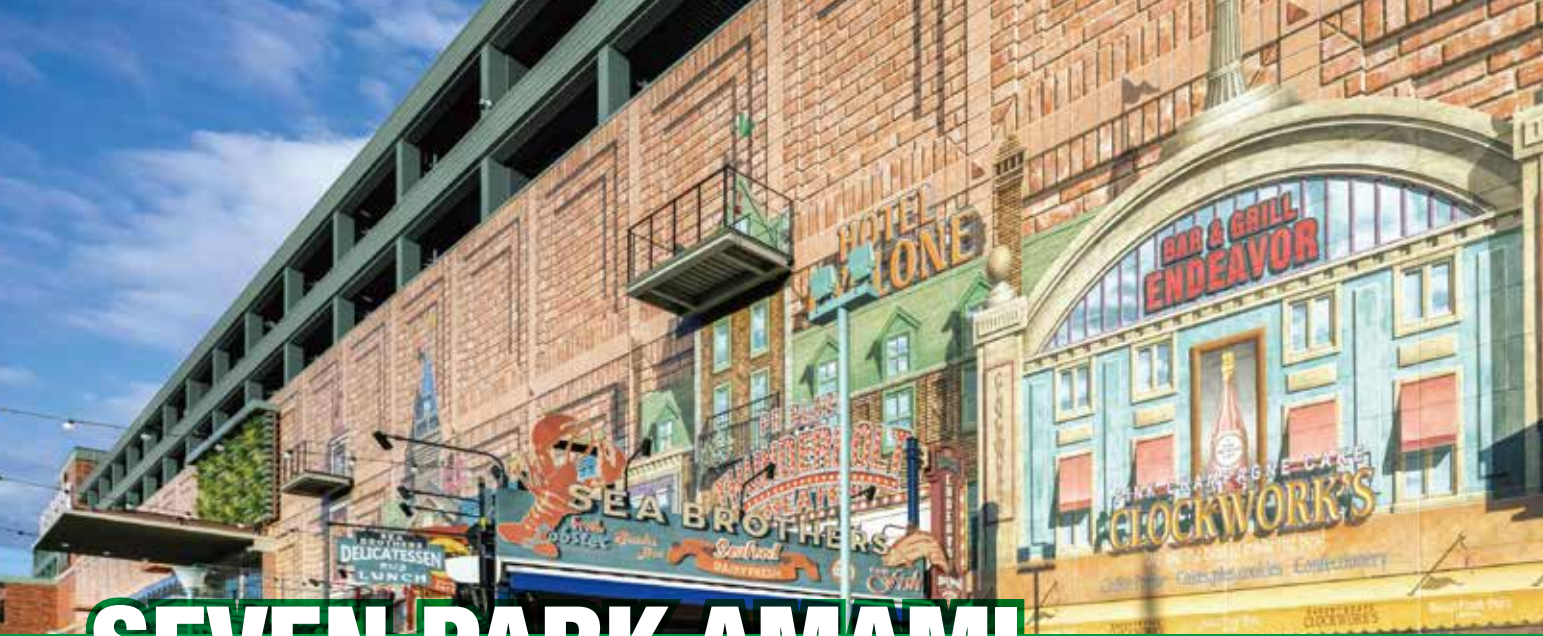


SDGsを伝える



SDGsのことを学べるウェブサイトを作成。17のキャラクターとともに、小さなお子様にもわかりやすく伝えています。





SEVEN PARK AMAMI

次世代の新しい商業施設が 大阪府松原市に誕生!!

「セブンパーク
天美」

2021年11月、大阪府松原市に立地する区画整理事業によって整備された約2万坪の敷地に、商業とエンターテインメントを融合した複合施設がオープンしました。『天美エリアから遊び心のあるあたらしさを発信したい』との思いから、名称を「セブンパーク天美」と決定しました。セブンパーク天美では、「LIVE STADIUM～普段の暮らしに・感動・興奮・驚きを～」をコンセプトに、バーチャルな世界を融合させた“リアル”の感動や喜びを提供していきます。

メインホール 「AMAMI STADIUM」

吹き抜け部分に約520インチの4K映像に対応する大型LEDビジョンを設置。さらにライブハウス並みの音響、照明設備を完備しており、さまざまな情報やエンターテインメントを大迫力の映像、音と共に“LIVE”でお届けします。



自然と横丁に迷い込む 「ニューまったら横丁」

地元や関西地域の美味しいものを集めた食物販ゾーンでは、あえて雑多な空間を演出。「まったら」とは方言で、「松原」がなまったもの。愛着を持っていただけるように「ニューまったら横丁」と名付けました。



環境に配慮した最先端の 環境配慮型設備の導入

セブンパーク天美の取り組みでは、国が支援する補助事業「サステナブル建築物等先導事業(省CO2先導型)」^{※1}において、当該施設に導入したCO2排出削減技術、健康、災害時の事業継続等に寄与する取り組みが評価されました。CO2排出削減率は従来比-40%^{※2}を目指します。

※1 省エネ・省CO2とあわせて、健康、災害時の事業継続性等に寄与する取り組みの普及啓発を図るため、省エネ・省CO2に係る先導的な技術を導入した建築物のリーディングプロジェクトに対して、国が支援する補助事業

※2 ECCJ省エネルギーセンター統計値と比較

次世代BEMS
コージェネレーション

太陽光発電
特高・発電機

壁面緑化

バイオガス発電



井戸水利用

大規模緑化

全館LED照明
人感センサー
昼光センサー

外気冷房
CO2濃度制御
ナイトバージ

BCP